

「はまっこ郊外暮らし検討会」始動

～横浜市郊外の魅力を生かした住みよい暮らしを検討します～

横浜市立大学と京浜急行電鉄株式会社、横浜市は、産官学連携で横浜“郊外”の魅力を活かした新たなライフスタイルについて、空き家等を使って実現する方策を模索するため、「はまっこ郊外暮らし検討会」を立ち上げます。

第1回検討会で街歩きを行う金沢区では1960年代以降、郊外住宅地としての開発が進みましたが、現在、高齢化に伴う空き家の増加、第二世代の都市部への移住等といった居住需要の低下が課題となっています。そこで、都心部にはない郊外の豊かな緑や育児に適した居住環境といった強みに加え、若者世代が求める現代的な暮らし方を実現する方策を検討会で考え、具体化に向けて取り組んでいきます。

検討会は年6回の開催を予定し、メンバーは横浜市立大学教員、京浜急行電鉄、横浜市に加え不動産専門家で構成されます。また、横浜市立大学でまちづくりを学ぶ学生も検討会に実習授業の一環として関わり、若者が考えるまち・住宅の提案を行います。

○プロジェクトのポイント

- 1 “郊外”をキーワードに若者世代に新たな暮らしの具体案を検討する
- 2 住宅、不動産業界の著名な専門家を検討会メンバーに招へい

第1回「はまっこ郊外暮らし検討会」

◆ 平成31年5月8日（水） 街歩きと意見交換会

実施場所：横浜市立大学、横浜市金沢区内

実施時間：14時00分～18時00分（予定）

内 容：横浜市金沢区の見学、横浜市郊外住宅の現状説明、区内各種取組事例紹介、意見交換等

○検討会メンバー

学：＜有識者＞三浦展（株式会社カルチャースタディーズ研究所）、池本洋一（株式会社リクルート住まいカンパニー）、大島芳彦（株式会社ブルースタジオ）、吉里裕也（R不動産株式会社）

＜横浜市立大学教員＞齊藤広子、鈴木伸治、三輪律江、中西正彦

産：京浜急行電鉄株式会社

官：（オブザーバー）横浜市都市整備局、横浜市金沢区

※京浜急行電鉄と横浜市は平成30年7月に京急沿線地域の魅力向上を目的として連携協定を締結。

○検討会スケジュール（予定）

	時期	内容等
第1回	5月8日	街歩き、郊外暮らしについて意見交換
第2回	7月26日	学生による提案発表会
第3～5回	9月以降（予定）	未定
第6回	3月予定	まとめ（空き家等を活用した、新たなライフスタイルの提案）

※取材をご希望の方は、前日までに以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

お問い合わせ先

◆取材のご依頼、本検討会について

横浜市立大学 企画財務課 企画担当課長

小松 利行

Tel 045-787-2405

京浜急行電鉄株式会社 広報部報道課

菊池・金子

Tel 03-3280-9122

◆京急沿線まちづくりについて

横浜市都市整備局 地域まちづくり課長

磐村 信哉

Tel 045-671-2694

学生の感性を生かした、郊外暮らしの提案発表

～第2回はまっこ郊外暮らし検討会～

横浜市立大学では、「第2回はまっこ郊外暮らし検討会^{*1}」として、学生による新たな郊外暮らしの提案発表会を7月26日(金)に実施します。

第1回検討会では、横浜市大教員及び京浜急行電鉄株式会社をはじめとした検討会メンバー^{*2}の産官学関係者等約30名と共に、横浜市の郊外エリアの視察を行い、緑の多さや街区構成等を確認、さらに郊外での暮らし方について、将来を見据え、多世代居住や都心部にはない郊外の特性や魅力を生かした取組を進める必要性などを議論しました。

第2回検討会では、今の若者が考える郊外の暮らし方について、本学の学生が必修授業科目「まちづくり実習Ⅱ」^{*3}(担当教授：齊藤広子^{*4})においてまとめた提案を発表します。

学生は横浜市金沢区や地域の協力を得て、空き家の現地調査から始め、周辺の施設や交通の便、地域の取組を学びながら、新たな郊外暮らしの提案に必要なデータを収集しました。その調査結果や、本検討会委員による講義から学んだことを踏まえ、空き家の利活用とリタイアメント世代を含めたコミュニティビジネスによるまちの魅力向上なども視野に入れた、新たな郊外暮らしを提案します。

今回の学生からの提案もふまえ、はまっこ郊外暮らし検討会では、都心部にはない郊外の豊かな緑や育児に適した居住環境といった強みに加え、若者世代が求める現代的な暮らし方を実現する方策を考えていきます。

概要

日時：令和元年7月26日(金)15時00分～17時40分頃(予定)

実施場所：横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCUスクエア 201
横浜市金沢区瀬戸 22-2

参加者：本学の学生45名によるプレゼンテーション

内容：“郊外”をキーワードに、学生が新たな暮らし方を提案

※検討会メンバー、学生及び関係者の方のみの参加となります。
一般参加の受付はございません。



第1回検討会の様子(5月8日実施)

※取材をご希望の方は、前日までに以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

お問い合わせ先

◆取材のご依頼、本検討会について

横浜市立大学 企画総務部 企画財務課 企画担当課長 小松 利行
京浜急行電鉄株式会社 広報部 報道課 菊池 哲也

Tel 045-787-2405

Tel 03-3280-9122

参考

※1 はまっこ郊外暮らし検討会

横浜市立大学と京浜急行電鉄株式会社、横浜市、産官学連携で横浜“郊外”の魅力を活かした新たなライフスタイルについて、空き家等を使って実現する方策を模索するため立ち上げた検討会。検討会は年6回の開催を予定。横浜市立大学でまちづくりを学ぶ本学の学生も検討会に実習授業の一環として関わる。

※2 検討会メンバー

学：＜有識者＞三浦展（株式会社カルチャースタディーズ研究所）、池本洋一（株式会社リクルート住まいカンパニー）、大島芳彦（株式会社ブルースタジオ）、吉里裕也（R不動産株式会社）
＜横浜市立大学教員＞齊藤広子、鈴木伸治、三輪律江、中西正彦
産：京浜急行電鉄株式会社
官：（オブザーバー）横浜市都市整備局、横浜市金沢区

※3 必修授業科目（実習授業科目「まちづくり実習Ⅱ」）

国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース3年前期の必修科目。6～7月の課題は「郊外の新たな暮らし・まち・ビジネスのあり方を考える！！-空き家の利活用とコミュニティビジネス-」という課題で、魅力あるまち・すまいの実現のため、正確なデータ分析による理論的思考に基づいたプラン作り、市場分析（マーケットリサーチ）、リノベーションプラン作成、プランのプレゼンテーション、収支計算など、実践的・総合的な実習を行い、空き家利活用の具体的な提案を行う。

＜授業の様子＞



NPO 法人 atamista 代表理事・市来広一郎氏（特別ゲスト）の講義



SUUMO 編集長（株式会社リクルート住まいカンパニー）・池本氏（検討会メンバー）の講義



株式会社ブルースタジオ専務取締役・大島氏（検討会メンバー）の講義

※4 齊藤 広子 プロフィール

横浜市立大学、国際教養学部国際教養学科都市学系教授。副国際教養学部長兼国際総合科学部まちづくりコース長、地域政策コース長。博士（学術）・博士（工学）・博士（不動産学）。

筑波大学第三学群社会工学類都市計画専攻卒業。不動産会社勤務を経て、大阪市立大学大学院生活科学研究科修了。英国ケンブリッジ大学研究員、明海大学不動産学部教授を経て、2015年より現職。国土交通省社会資本審議会・神奈川県住宅政策審議会等の委員、空き家等対策計画の作成のための横浜市空き家等対策協議会（座長）他、多数の委員を務めている。



KEIKYU
京急電鉄



令和元年9月25日
公立大学法人横浜市立大学
京浜急行電鉄株式会社
横浜市都市整備局

郊外の魅力的な暮らし方のアイデア募集開始!

～産官学連携で、空き家等を活用した横浜郊外の新たなまちづくりを推進します～

横浜市立大学と京浜急行電鉄株式会社、横浜市は、横浜市内における新たな郊外の暮らし方について、空き家等を活用して実現する「すまいづくり・まちづくり」のアイデアを本日令和元年9月25日から12月12日まで募集します。

横浜市の郊外住宅地では、都心部にはない緑の多さ等の魅力がある一方、通勤の便等から需要が低下しつつあり、相続されても使われない等、今後も空き家の増加が懸念されています。

そこで、未永く人が住まう、住民にとって魅力ある郊外の暮らし方を考えるため「はまっこ郊外暮らしコンペティション」を実施。空き家等を活用したアイデアを広く募集し、応募作品は、はまっこ郊外暮らし検討会※₁のメンバー※₂である有識者（不動産業界）が中心となり審査します。

また、令和2年3月24日には、審査通過者の公開プレゼン審査（予定）と表彰式のほか、シンポジウムを開催し、郊外住宅地の特性や魅力、「若者世代の郊外暮らし」をテーマに、審査員によるパネルディスカッション等を行います。さらに、特に優秀なアイデアについては、横浜市における施策の参考とするとともに、京浜急行電鉄株式会社では、今後の京急沿線のまちづくりにおいて具体化の検討を行います。

はまっこ郊外暮らしコンペティション・応募要項概要

（応募詳細はホームページ参照）

- ◆**テーマ**：横浜の郊外住宅地における魅力的な「暮らし方」
- ◆**応募方法**：ホームページの入力フォーム又はEメールにて必要事項を記入の上、申込み。
作品の提出は、郵送にて事務局に提出。
- ◆**日程(予定)**：募集開始…令和元年9月25日
作品提出締切…令和元年12月12日
審査通過発表…令和2年3月2日（ホームページ上で発表の上、本人に通知）
シンポジウム・表彰式…令和2年3月24日（公開プレゼン審査予定）
- ◆**審査員(予定)**：齊藤 広子 横浜市立大学・教授※₃
大島 芳彦 株式会社ブルースタジオ
池本 洋一 株式会社リクルート住まいカンパニー
吉里 裕也 R不動産株式会社
横浜市都市整備局
京浜急行電鉄株式会社
- ◆**入選(予定)**：大賞、市長賞、横浜市立大学賞、京急賞
- ◆**周知方法**：広報よこはま、京急線の車内広告及び主要駅ポスター掲示 …等
- ◆**問合せ先**：横浜市立大学 企画財務課 地域貢献担当・はまっこ郊外暮らし検討会事務局
TEL：045-787-2449 Eメール：hamakko@yokohama-cu.ac.jp
- ◆**ホームページ**：http://www.hamakko-kougai.com/

お問い合わせ先

横浜市立大学 企画財務課 企画担当課長	小松 利行	Tel 045-787-2405
京浜急行電鉄株式会社 京急ご案内センター (受付時間) 平日 9:00～19:00 / 土・日・祝日 9:00～17:00		Tel 045-441-0999 / 03-5789-8686
横浜市都市整備局 地域まちづくり課長	磐村 信哉	Tel 045-671-2694

参考

※1 はまっこ郊外暮らし検討会

横浜市立大学と京浜急行電鉄株式会社、横浜市が、産官学連携で令和元年5月に立ち上げた検討会。横浜“郊外”の魅力を活かした新たなライフスタイルについて、空き家等を使って実現する方策を模索している。本検討会では、都心部にはない郊外の豊かな緑や育児に適した居住環境といった郊外の特性や魅力を生かした取組を進める必要性や、若者世代が求める現代的な郊外での暮らし方の提案について議論している。

〈過去の議論内容〉

第1回検討会(令和元年5月)では、横浜市立大学教員及び京浜急行電鉄株式会社をはじめとした検討会メンバー^{※2}の産官学関係者等約30名と共に、横浜市の郊外エリアの視察を行い、緑の多さや街区構成等を確認、さらに郊外での暮らし方について、将来を見据え、多世代居住や都心部にはない郊外の特性や魅力を生かした取組を進める必要性などを議論した。

第2回検討会(令和元年7月)では、横浜市立大学国際総合科学部3年生の学生45名が9班に分かれ、空き家の利活用とリタイアメント世代を含めたコミュニティビジネスによるまちの魅力向上なども視野に入れた、現代の若者が考える新たな郊外暮らしをまとめた提案について、審査し、表彰した。



第1回検討会の様子（街歩き）

第2回検討会（学生提案表彰の様子）

※2 検討会メンバー

学：〈有識者〉池本洋一（株式会社リクルート住まいカンパニー）、大島芳彦（株式会社ブルースタジオ）、吉里裕也（R不動産株式会社）

〈横浜市立大学教員〉齊藤広子、鈴木伸治、三輪律江、中西正彦

産：京浜急行電鉄株式会社

官：（オブザーバー）横浜市都市整備局、横浜市金沢区

※3 齊藤 広子 プロフィール

横浜市立大学、国際教養学部国際教養学科教授。副国際教養学部長兼国際総合科学部まちづくりコース長、地域政策コース長。博士（学術）・博士（工学）・博士（不動産学）。

筑波大学第三学群社会工学類都市計画専攻卒業。不動産会社勤務を経て、大阪市立大学大学院生活科学研究科修了。英国ケンブリッジ大学研究員、明海大学不動産学部教授を経て、2015年より現職。国土交通省社会資本審議会・神奈川県住宅政策審議会等の委員、空家等対策計画の作成のための横浜市空家等対策協議会（座長）他、多数の委員を務めている。